

**単元名**      **いろいろな かたち**
**配当時間**      **3時間**

**単元の目標** (1) 身の回りにある立体の観察を通して、形の特徴を捉えたり、仲間分けしたりすることができる。  
 (2) 身の回りの物を、色や大きさ、材質に関係なく、形として捉えることができる。  
 (3) 立体図形の特徴や機能について興味・関心をもち、楽しく作業をしながら基本的な形を捉えようとする。

**標準的な展開例**

01040104\_001

【準備等】 空き箱や空き缶など、セロハンテープ、両面テープ、のり、積み木（角柱、円柱、球）、色鉛筆

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 空き箱や空き缶などを使っていろいろな立体を作る。[p.30・p.31] ○家から持ってきた箱や缶を紹介する。 ○箱や缶を使っていろいろな物を作る。 ○単元の学習課題をつかむ。 ★みちかなもののかたちについてかんがえていこう。	・既製の形にとらわれず、自由な発想で作れるように言葉がけをする。  【評】形作りの活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
2 立体を形の特徴で仲間分けする。[p.32・p.33]  ○角柱、円柱、球の特徴を発表する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★いろいろなかたちをなかまわけしよう。  ○絵にかかれた具体物を角柱、円柱、球に分ける。	・児童の発想を大切にし、そこから出てきた特徴を基にして教科書にかかれた具体物を仲間分けさせる。  ・教科書の絵だけに頼らず、様々な色や大きさ材質の具体物を用意し、実際に手で触ったり様々な角度から見たりする活動を通して、形だけに着目できるようにする。  【評】立体を仲間分けする活動を通して、「知識・技能」を評価する。
3 積み木の面を写し取り、それを使った絵かき遊びをする [p.34・p.35] ○本時の学習課題をつかむ。 ★かたちをうつして、えをかこう。 ○積み木にどんな面があるか発表する。 ○積み木の面を写し取る。  ○写した絵を基にして絵かき遊びをする。	・面を写し取る操作を通して、立体を構成する面の形に注目させる。  ・「まる」「さんかく」「しかく」のどの形から始めてもよいが、形の特徴を捉えさせる観点から、どの児童にも全ての形に取り組みせる。 ・形の内部に絵をかく場合と形の外部にもはみ出して絵をかく場合があるが、形の特徴が失われなければよいことを知らせる。 【評】積み木の面を写し、絵かき遊びをする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

**【 備 考 】**

本単元は、身の回りにある基本的な立体について、その形の特徴を学習する。そこで、身近な立体を用いて乗り物や動物などいろいろな形を作り、図形概念を形成するための感覚を豊かにするように心がけることが大切である。